

琉球大学医学部附属病院 沖縄県民の健康公開講座

## 心臓病低侵襲治療の最前線

～切らずに治す心臓カテーテル治療（PCI・TAVI）とは～

琉球大学医学部附属病院による沖縄県民の健康公開講座「心臓病低侵襲治療の最前線」が2017年10月15日（日）に沖縄県立博物館・美術館で開かれました。

今回の公開講座では、県民の医療福祉の向上を図るため、4名の先生が、心臓病の基礎から心臓カテーテル治療の最前線であるPCI・TAVI治療、リハビリについて、講演を行いました。

講演では、生活習慣病と直結し、若年層で急増している「狭心症・心筋梗塞」、超高齢化社会で急増する「重症大動脈狭窄症」等の突然死を招く心臓病に対するカテーテル治療をわかり易く解説しました。

質疑応答では、ご来場の皆様が、講演を通して生じた疑問一つ一つに、4名の先生が丁寧に答えました。

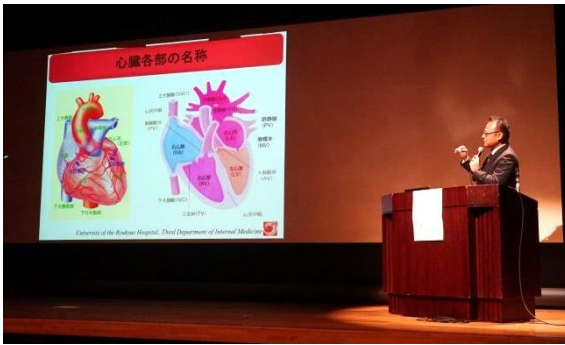
また、講演会後は、別会場で相談コーナーを設け、個別に質問や相談を受け付けました。先生方と一対一で対話ができる滅多にない機会に、ご来場の皆様も、心臓病に関する不安や悩み、疑問を相談されていました。



開会と閉会の挨拶を担当した第二外科  
國吉教授



会場の様子



「心臓のしくみと心臓病」の題で講演を行う第三内科 池宮城助教



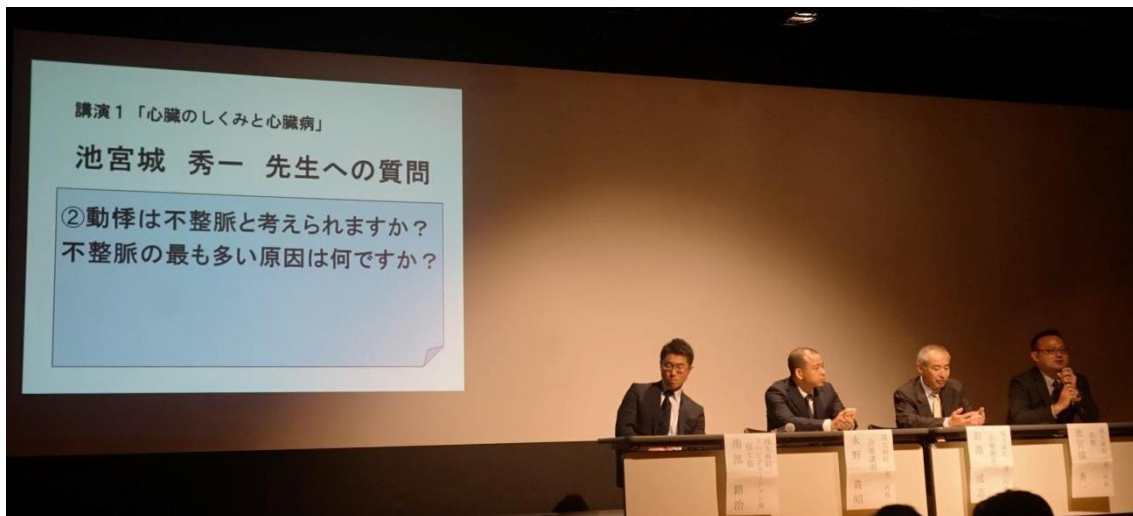
「カテーテルで治療する狭心症と心筋梗塞」の題で講演を行う第三内科 岩淵診療教授



「切らずに弁膜症を治す最新治療：TAVI（タビ）」の題で講演を行う第二外科 永野診療講師



「はじめてみよう！心臓リハビリテーション」の題で講演を行うリハビリテーション部 南部技士長



質疑応答の様子